交換用バッテリパック

OMRON

BUB1002RW 取扱説明書

本製品は、BU1002RW の交換用バッテリパックです。

目　次

安全上のご注意 1
1. 付属品を確認する 3
2. バッテリの交換 3
　2-1. 無停電電源装置（UPS）のバッテリ交換方法 4
3. 外形寸法図 7

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

■この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

⚠ 危 険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注 意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

⃠: **禁止（してはいけないこと）を示します。例えば** ⃠ **は分解禁止を意味しています。**

❗: **強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば** ⏚ **はアースの接続が必要であることを意味します。**

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 注 意（バッテリ交換時）

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。
- バッテリは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ（酸）によるやけどなどの危険があります。

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。
- 火災の原因となることがあります。
- 商品型式：BUB1002RW

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。
- バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないこと。
- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。
- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。
- 希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。
- 感電、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり 、破壊したりしないこと。
- バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

新しいバッテリと古いバッテリを同時に使用しないこと。
- 希硫酸が漏れたりすることがあります。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。
- 鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
- リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

バッテリの保管（使用していない状態）可能期間は、完全充電状態から約 6 ヶ月です。（保管温度 25℃以下の場合。40℃以下の場合は約 2 ヶ月です。）
- バッテリは使用しなくても内部で自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となり、バックアップ時間が短くなったり、ご使用できなくなることがあります。
- バッテリは保管中にも劣化が進み、寿命が短くなります。早目にご使用を開始してください。
- バッテリご購入後 6 ヶ月以内にご使用を開始してください。
  無停電電源装置(UPS)に取り付けて保管される場合は、保管前に 12 時間以上充電をし、保管中は電源スイッチを「切」にしてください。保管期間が 6 ヶ月を超える場合、超える前に無停電電源装置（UPS）を 12 時間以上商用電源に接続し、バッテリの再充電を行ってください。
- 保管を継続される場合は、保管温度 25℃以下の場合には以後 6 ヶ月ごと、40℃以下の場合には 2 ヶ月ごとに再充電を行ってください。

1. 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐにオムロン電子機器カスタマサポートセンタへご連絡ください。

- 取扱説明書（日本語版 / 英語版）..... 各 1 冊
- 予備用ネジ（M3 × 8mm、ワッシャー付）..... 2 本
- バッテリ交換日シール ..... 1 枚

2. バッテリの交換

無停電電源装置（UPS）が、電源オフ状態（電源出力停止中）でも、電源オン状態（電源出力中）でもバッテリの交換が可能です。

⚠ 注意
無停電電源装置（UPS）を UL,CE 規格適合品としてご使用される場合は、バッテリ交換作業はバッテリの危険性や注意すべきことを理解している人に依頼する、もしくはその人の監督の下で行ってください。

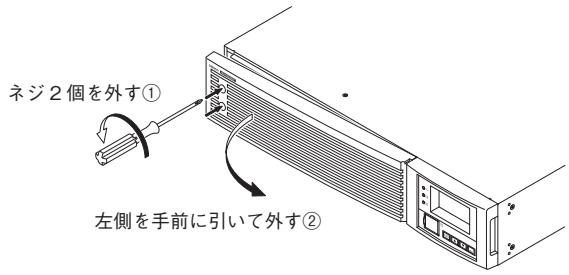
※「バッテリ交換」LED が点灯／点滅表示されて、ブザーが鳴動している場合は、「ESC」スイッチを 0.5 秒押すことでブザー音を停止させることができます。

※ 運転状態でのバッテリ交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、バックアップできず出力が停止します。

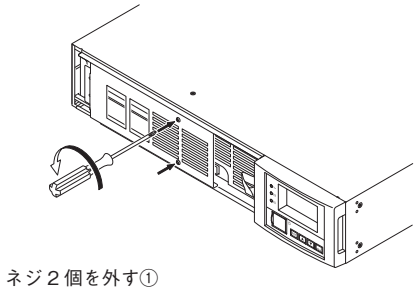
※ バックアップ運転中にバッテリ交換をしないでください。出力が停止します。

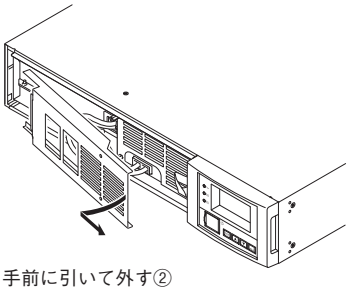
2-1. 無停電電源装置（UPS）のバッテリの交換方法

1. 無停電電源装置（UPS）のフロントパネル左側にあるネジ２個を、ドライバーで反時計回りに回して外します。①
   フロントパネル左側を手前に引いて外します。②

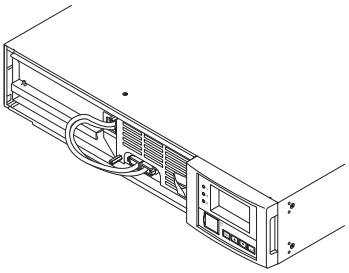


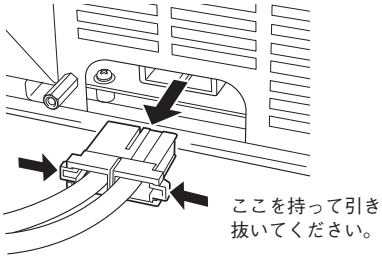
2. 板金カバーを止めてあるネジ２個を反時計回りに回して外します。①
   板金カバーの右側を手前に引いて外します。②





3. バッテリコネクタを外します。バッテリコネクタの両端をつまみながら引き抜いてください。



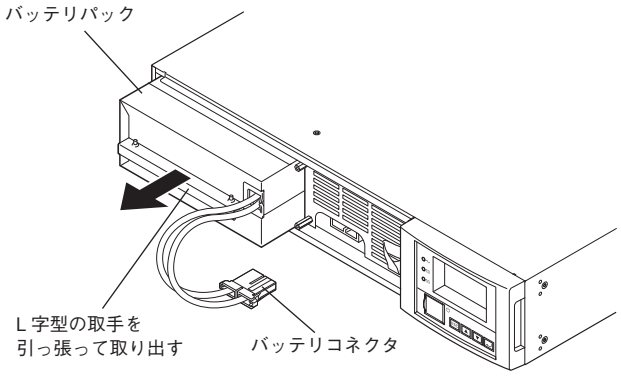


4. バッテリパック前面にあるＬ字型の取手を持って、バッテリパックを取り出します。

⚠ 注 意

バッテリパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリパック天面に貼ってあるラベル上の赤いラインが見えたら、あと 10cm でバッテリが完全に取り出せます。バッテリをしっかりと持ち、バッテリを落とさないよう注意してください。

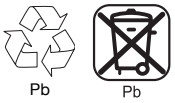


5. 新しいバッテリを傾けないように真っ直ぐ無停電電源装置（UPS）の奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリパック

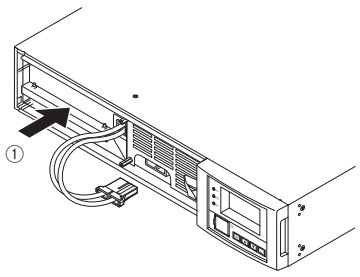
BU1002RW 用：型式 BUB1002RW

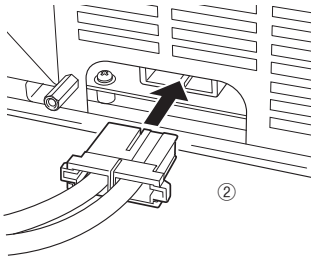
	BUB1002RW
定格電圧	DC36V（12V × 3 個）
定格容量	9Ah



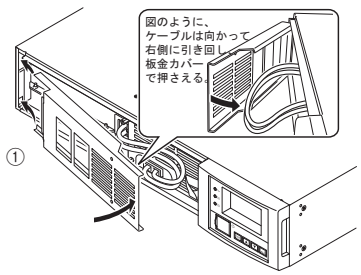
● **CONTAINS SEALED LEAD-ACID BATTERY.**
● **BATTERY MUST BE RECYCLED.**

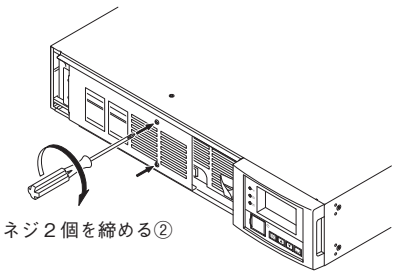
コネクタを止まるまで差し込みます。②



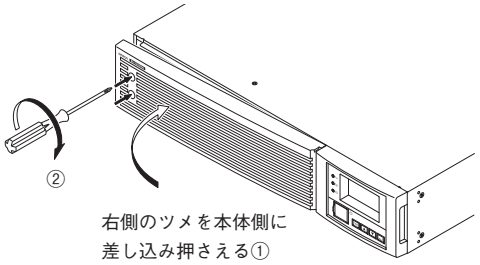


6. 板金カバーを取り付けます。
板金カバー左側のツメを本体内側の穴に差し込んだ後①、本体側へ押さえます。
板金カバー右側を外したネジ２個でしっかりと締め付けます。②





7. フロントパネルを取り付けます。
フロントパネル右側のツメを本体側の穴に差し込んだ後、本体側へ押さえます。①
フロントパネル左側から外したネジ２個をドライバーで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②



以上でバッテリ交換は終了です。

＜バッテリ交換後は、必ずバッテリ寿命カウンタのリセットを行ってください。＞
バッテリ交換後は、LCD 表示メニュー内の［コントロール］－［B 寿命リセット］で、バッテリ寿命カウンタをリセットできます。
もしバッテリ寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリの期待寿命より早くバッテリ劣化アラームが発生してしまう恐れがあります。

付属のバッテリ交換日シールにバッテリ交換日を記入し、本体に貼付してください。
なお、無停電電源装置（UPS）に添付の自動シャットダウンソフト（PowerAct Pro）をご使用いただければ、本ソフトにてバッテリ交換日を管理いただけます。

3. 外形寸法図